

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	241	3年	通年	看護学科	必修	看護アセスメントⅡ Nursing Assesment Ⅱ	15	1
担当教員								
成人看護学講座教員	老年看護学講座教員	母性看護学講座教員	小児看護学講座教員					
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
○	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
地域で生活する複雑・多様な人々を身体・心理・社会・環境面からとらえ、病気が発症・増悪し、治療を必要とする対象への看護実践および正常経過からの逸脱予防のためのセルフケア行動を促す看護実践を行うために、現状及び今後予測される課題を科学的根拠に基づきアセスメントおよび看護計画を立案するプロセスを通して、対象を理解するための基礎的能力を習得することができる。								
到達目標（授業目標）								
① 地域で生活する複雑・多様な対象を専門的知識に基づき総合的に理解し説明することができる。								
② 各講義で学んだ理論や概念を用いて対象をアセスメントすることができる。								
③ 看護計画の立案を通して看護過程についての理解を深め、領域実習に必要な基礎的知識を習得することができる。								
④ 演習や発表会を通して体験的に理解を深め、主体的に学習することができる。								
回								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
1回	オリエンテーション・学習計画立案：授業概要、到達目標、展開方法についての説明。領域の事例について共有し、既習の学習と結びつけ、今後の学習計画を立案する。							
2回	看護計画立案①：事例のアセスメント・看護計画の立案（グループワーク）							
3回	看護計画立案②：事例のアセスメント・看護計画の立案（グループワーク）							

4回	看護計画立案③：事例のアセスメント・看護計画の立案（グループワーク）				
5回	学内演習①：各グループで立案した看護計画に基づく演習（グループワーク）を行い、アセスメント及び計画を修正する。				
6回	学内演習②：各グループで立案した看護計画に基づく演習（グループワーク）を行い、アセスメント及び計画を修正する。				
7回	領域別総括：事例学習を通して学んだアセスメントの視点と、対象を総合的に理解し看護実践に繋げるプロセスについて総括する。				
8回	全体発表会：全領域の発表。発表会后、自己学習した他領域事例のアセスメントについて不十分な点を整理し、自己学習を行ったうえで提出する。				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
16回					
17回					
18回					
19回					
20回					
21回					
22回					
23回					
24回					
25回					
26回					
27回					
28回					
29回					
30回					
成績評価方法及び基準					
領域別評価（課題の取り組み・グループワーク・課題の成果）：60%					
共通評価（全体発表会、総括レポート、その他の課題）：40%					
トータル60点以上を合格とする。					
教科書	なし				
参考図書等	各看護学で使用した参考書・資料等を活用する。				
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）					
グループワークの事前学習や発表準備に時間を要する。また、領域実習に必要な基礎的知識を習得するために課題に対する自己学習が必要である。					
関連科目					
前科目	211 成人急性期看護方法	212 成人慢性期看護方法	217 老年看護方法論	225 母性看護方法論Ⅱ	221 小児看護方法論
後科目	214 成人看護学急性期実	215 成人看護学慢性期実	218 老年看護学実習	226 母性看護学実習	222 小児看護学実習
実務家教員					
看護師（医療機関）	成人看護学講座教員	老年看護学講座教員	小児看護学講座教員		
助産師（医療機関）	母性看護学講座教員				
備考					